

小学部国語「マークのいみをしろう」、プログラミング学習

国語の学習として「記号や表示の特徴に気づき、表された意味に応じて行動すること」を目標に取り組みました。

学習の前半は、矢印や○×の記号を見てゴールを目指す校内ウォークラリーを行いました。教師と一緒に矢印の方向を指さして向きを考えたり、矢印の意味を理解し、自信をもって歩いたりする様子が見られました。

学習の後半では、記号を「立ち入り禁止」「工事中」「横断歩道」等のマークに変え、校舎内を歩きました。『マークずかん』でマークの意味を調べ、歩くことを繰り返すと、「立ち入り禁止はどうするの？」の問い掛けに「(行っては) だめ。」と答えたり、マークをよく見て行動したりすることができるようになりました。

学習のまとめでは、矢印の書かれた紙を置いたり、矢印をタブレットで入力したりして、ロボットをゴールまでプログラミングする学習を行いました。指先を使って丁寧にタブレットを操作したり、「立ち入り禁止」を避けてゴールするルートを考えたりしました。また、なぜそのルートにしたのかなど自分の言葉で説明もしました。最後にロボットがダンスをするのに合わせてとみんなと一緒に踊りました。

